

4. PTA 以外の団体の成立

PTA および日本 PTA 全国協議会は組織として順調に発展定着していったが、日教組の違法なストライキ闘争を巡って、一部の教員などとの関係では、協力連携の基盤たる関係を構築することができない状況にあった。

こうしたことから、教職員組合や一部の教職員の支援等により、日本 PTA 全国協議会とは立場を異にする親と教員の全国組織が作られていった。

昭和 27 年(1952)5 月には、教員組合と密接に協力する「日本子どもを守る会」が日教組婦人部などにより結成され、また、昭和 28 年には「母親と女教師の会」が結成されている。

さらに、昭和 30 年(1955)6 月には、全国 60 余の婦人団体、2,300 人の参加で、「日本母親大会」が開かれている。

逆に、こうした動きに対抗する目的を持った団体として、昭和 32 年 8 月、「東京都父母会議」が結成され、33 年 3 月には「全日本教育父母会議」が結成されている。"日本の教育を親心で守る" のスローガンのもと、日教組の過激な運動を批判し、「日本の教育について父母の願い」を実現する活動を行った。